

## Aグループでの意見交換まとめ

(子育て関係サロン・シルバーパワー事業関係者)

### ①サロンを始めたきっかけ

- 子どもが生まれた時、周りに誰が・何があるのかわからない。同じような悩みを抱えている人と知り合ったことをきっかけにし、サロンを立ち上げた。
- 高齢者・子どもとも地域で見守らなければいけない人がいることからサロンを立ち上げた。→こうした人たちの交流、引きこもり・閉じこもり防止

### ②サロンを行っていて・シルバーパワー事業をしていて良かったこと。

- サロンで、生活で困り悩んでいる人に気付いたこと
- あいさつができるような間柄になったこと。買い物でお互い声をかけられる。  
→見守りにつながっている。  
子供が中学生になっても声をかけてくれる。
- 行政・地域とつながりができたこと。

### ③現在の課題（他のサロンに聞きたいこと）

#### ○運営費の問題

特に自主的に立ち上げたサロンで、行政や地域とのつながりがまだ少ないと会場費・運営費・保険料など経費に問題がある。

## Bグループでの意見交換まとめ

(高齢者等サロン・シルバーパワー事業関係者)

### ①サロンを始めたきっかけ

- 地域ふれあいの場として発足（女性会）
- 高齢化が進み、話し合いの場を設けようと立ち上げる（おしゃべり、手編み）
- 公園で寂しそうにしている老人を見かねて話し相手が欲しいだろうと始めた。
- 老人会員でありながら交流の場が無かった。必要であろうと老人会が立ち上げる。（現在は老人会とは別に運営）
- 学区でサロンを立ち上げたい。70歳以上の家は網羅してある。

### ②サロンを行っていて・シルバーパワー事業をしていて良かったこと。

- 出席者が来てよかったと、喜びの声が挙がること。お互い学区の知らないもの同士。引っ越ししてきた人とも打ち解けて話せるようになった。
- 毎週男女喜んで参加してくれる。
- 男性も来ている。

### ③現在の課題（他のサロンに聞きたいこと）

- 月1回女性会として苦痛になっている。年度替わり担い手が変わるのはいかななものか。
- 担い手が少ない。（高齢化により）
- 個人でサロン運営。後継者育成。・・・保険制度の確立？
- 高齢者向けPRは、目に飛び込むようなチラシとする。
- 今後は各学区とトップが確たる方向付をすること。

## Cグループでの意見交換まとめ

(高齢者等サロン・シルバーパワー事業関係者)

### ①サロンを始めたきっかけ

- 民生委員をしていたときに、「一人暮らしや年をとって遠くへ出かけられない」「寂しい」「出かけたい」との声があり、空き家を使いここでやる？と始める。3人くらいで始め7年くらいやっていて現在15人。
- 社務所が空いており、6年前に町内会長をやっているときに始めた。PRがうまくできない。お年寄りと子供さんのふれあいのきっかけになればいい。
- 収益は50万以上、補助金もなく学区以外の方もお越しいただいている。

### ②サロンを行っていて・シルバーパワー事業をしていて良かったこと。

- やっている中でだんだん知名度が上がった。
- サロンにくることにより近所の情報が入り、お互いが相手を気にするようになった。
- 口コミでお助けが広がって行って良かった。
- 子ども連れが参加。障がいをお持ちの方が自然に交流できるようになった。
- 孤立を防いで健康で上質に老後を目指す。
- 地域の顔が見える関係・交流ができるようになった。口コミで増えてきた。クリスマス・手芸をボランティアも楽しんでやっている。
- 顔の見える関係、つながりができた。

## Dグループでの意見交換まとめ

(高齢者等サロン・シルバーパワー事業関係者)

### ①サロンを始めたきっかけ

○孤立死が多くなったため、集まる場所を作りたいと思い、始めた。

(住民の半分以上が高齢者で一人暮らし)

○上名古屋会館の利用を増やす取り組みを考える中で、喫茶なら参加しやすいと思い始めた。

○高齢者同士の交流を目的として自治会からやってほしいという依頼があり始めた。

### ②サロンを行っていて・シルバーパワー事業をしていて良かったこと。

○サロンを始めてからあいさつが増えた。顔見知りになったことで、バスの停留所で発作を起こした参加者を、たまたま通りがかったスタッフが助けたことがあった。

カラオケに臨むことで、ハリが出てきた。友達作り、交流の手伝いができているのを実感する時。

○人生の先輩のいろいろなお話を聞けること。

○顔見知りになり、声をかけてもらえること。

○活動に対して感謝された時。(同じ人で3回感謝された)

○無事に活動を終えて、お礼を言われたとき。

○ありがたい言葉をもらったとき。

### ③現在の課題(他のサロンに聞きたいこと)

○結局、元気な人しか参加しない傾向がある。本当に来てほしい、閉じこもる意図を外に出すのは大変。

○人が多すぎても人のさばき方が難しい。いつも利用して長時間居座る人への対処。

○人間関係ができてくると、派閥や好き嫌いができてくる。

○参加者の口コミで徐々に増えている。

○依頼件数が少ない。←マグネットを配布したため件数が増えた。

○感謝の品を渡される時に困ることがある。

○お年寄りとの受け答えが難しい時がある。

○受けることのできない依頼は、はっきりと断る。

## Eグループでの意見交換まとめ

(高齢者等サロン・シルバーパワー事業関係者)

### ①サロンを始めたきっかけ

○老人クラブの活動として、友愛訪問を行っても来てもらわなくてもいいという人がおり、集いの場として始めた。22の単位老人クラブの会長がボランティアで協力してくれている。

○田舎の地域。地域の役員を今までやったことがなかったが、祖母から世話になったらお礼を返さないといけないと言われたことを思いだし、平成22年9月に始めた。

○自治会で始めたもののお手伝いを頼まれ、参加している。

○又穂団地は一人暮らしの高齢者が多く、孤立死もあった。はじめは安否確認のために、玄関ドアに札を下げる活動を始めたが、定着しなかった。何とか外に出てきて欲しいという思いで、サロンを始めた。参加者は75歳～85歳。

### ②サロンをやっていて・シルバーパワー事業をしていて良かったこと。

○町内の人との絆を深められた。ボランティアの活動に対して感謝されると、どちらにとってもいいと思う。

○参加者同士で友だちが増えたこと。

○参加される人が喜んで来ること。

○参加者が困っていることや将来のことを腹を割って話せる場になっている。

○町内の方から活動について、何度もお礼された。

### ③現在の課題(他のサロンに聞きたいこと)

○城西学区でも始めたいと思う。

○毎回35～40人の参加があり、現在は月1回で行っているが、月2回にしたい。音楽や歌が好まれるので、カラオケをしている所があれば知りたい。

○自宅開放で行っている。(自宅と息子の家)音楽をやるときはピアノのある息子の家で行っている。年に何回かは外でやってみたい。←桜の季節にお花見などいいのではないか。

○参加者を増やしたい。(団地に掲示している案内を持参)

←参加者募集の方法について意見交換。チラシを作っているが、見ている人と見ていない人がいる。参加者に友だちを連れてきてもらうように話す。

## Fグループでの意見交換まとめ

(高齢者等サロン・シルバーパワー事業関係者)

### ①サロンを始めたきっかけ

- 民生委員をやめることになり、サロンのことを紹介されたのがきっかけ。
- 社協からの呼びかけでボランティアグループの経験を活かして活動したいと思ったことがきっかけ。
- いろいろな人が集まると心強いと実感したことが、サロンオープンのきっかけ。
- 社協からの呼びかけで始めた。
- 民生委員の力を借りなくても、自分たちでも行政との橋渡しのようにできることがあると考えたのがきっかけ。
- 高齢者対策として始めた。

### ②サロンを行っていて・シルバーパワー事業をしていて良かったこと。

- 喜んでくださる人がいることを知った時がやりがいを感じる。
- 行政（民生委員）との橋渡し役を担えると実感できたこと。

### ③現在の課題（他のサロンに聞きたいこと）

- 人間関係の難しさをどう解決するか？
- 担い手⇨参加者の適正人数があるのでは？
- メニューの更新と参加者ニーズの兼ね合いを心配している。
- 開設目的（サロンの方針）
- 運営方法はどうか？（経済的に）